

# 大 因 幡

< INNOVA >



写真：サマーコンファレンスにて

先日全体事業「チャレンジウオーキングin因幡 六十キロ徒歩の旅 二泊三日の夏物語」が開催され無事終了しました。二泊以上の青少年事業としては九五年、九六年「因幡ハートランド」以来であり、今回事業内容のボリュームも相当大きなものであったことから、外部に対して更に強く発信できた、我々の活動を広く知ってもらえたことは大変素晴らしいことだと思います。またメディアコミュニケーション委員会のHPを利用したサポート体制も相当な力を発揮しました。家で子どもの健闘を期待し、無事を祈る保護者の方々もこの事業の参加者です。途中沿道で子どもにエールを送った保護者、HPの写真で子どもの様子を確かめて安心した保護者の存在も今回の目的達成への大きな要素であったと思います。

この事業は次代を担う青少年がこの因幡に愛着を持ってもらいたい、また青少年に対して、生きる力、頑張る力を養成し、そして他者を思いやる心を育成する目的を掲げ、小学生が佐治辰巳峠から鳥取砂丘までを自らの足で歩くというものであります。

スタートしてからは様々なことがありました。どうしても足が痛くて先に進めない子ども、何とか一緒に歩こうと励ます子ども、それでも足を痛め看護師に手当を受ける子ども、救護車の世話になる子どもと色々な状況があらゆる場面で立ち上がりました。環境大生ボランティアの誠心誠意の対応やJCIメンバーの確実な対処で多くの難局を乗り越え、ようやくゴールにたどり着きました。感動して涙を見せる子どもたち、出迎える保護者の方々、すばらしい情景がゴールの砂丘に広がりました。精神的にも肉体的にも大変辛い中で、仲間や大学生ボランティアに励まされながら、最期は全員でゴールの砂丘にたどり着きました。

最期の砂丘のスロープを登る時に後をつけて登ってくる子どもたちを見ながら、「子どもたちは本当に頑張ったな」「よくぞ佐治から砂丘までたどり着いたな」と言い得ぬ感動が全身を襲ったことは今初めて吐露するところですが、それはさておき、本日に有本委員長を始めとする委員会メンバーの皆さんのこの事業実施への「挑戦」には相当の敬意を払うところであります。

「黎明期より青少年の鳥取JCIとの評あり」それを見事体現して頂きました。本日に「苦労さまでした。そして参加、協力いただいたすべてのメンバーに感謝します。ありがとうございます。」

2005/vol.08 2005年8月17日 発行

## 「挑戦」

理事長 涌本 知彦

## スケジュール

- 8月22日(月) 青雀会(式部) 19:30~
- 8月27日(土) 写真家池本喜巳と歩く鳥取百景(1日目)
- 8月28日(日) 写真家池本喜巳と歩く鳥取百景(2日目)
- 9月4日(日) 第34回中国地区野球大会(真庭)
- 9月6日(火) 四役会
- 9月13日(火) 理事会
- 9月19日(月) じゃがいも会(OB合同戦)  
鳥取カントリー倶楽部吉岡温泉コース
- 9月21日(水) 9月定例会 ニューオータニ 19:00~

じゃがいも会OB合同戦開催  
日程：9月19日(月)  
場所：鳥取カントリー倶楽部  
吉岡温泉コース

第34回中国地区野球大会開催

日程：9月4日(日)  
開催地：真庭

## 7月青雀会報告



青雀会 幹事 山本 竜

去る7月25日、毎月恒例の青雀会が開催されました。サマーカンファレンスの後日ということで皆さん大変お疲れだったのでしょうか、参加人数こそ少ないものの本年度新入会員、前期より山内君、後期より田中君、山根君が参加してくださいましたことを幹事一同大変うれしく思いました。そんな中華々しく優勝を飾られましたのは、岡村会長でした。おめでとうございます。いつも2位の山下くんは優勝してくださいね♪ちなみに私は背中が焼けっぱなしです。(涙)

次回青雀会は8月22日(月) 処変わまして式部にて19時30分より、心新たに運をサイの目に委ねてみませんか?数多くのご参加、お待ちしております。



## 理事会報告

### 審議事項

- (1)8月定例会並びに第96回定時総会次第(案)の件
- (2)出向人事(案)承認の件
  - ①世界人権宣言推進鳥取市実行委員会 実行委員 幹事
  - ②鳥取砂丘美化運動協議会 幹事
- (3)名義後援承認の
  - ①第33回回商業界中・四国地方ゼミナール鳥取大会

### 協議事項

- (1)(仮称)第6回鳥取お城まつりへの参画  
~「日本一」の一夜城 誇りある鳥取城下町~事業計画(案)の件

### 報告事項

- (1)各委員会
- (2)出向理事

次回開催日の確認 [9月13日(火)]

## 青雀会成績表

順位	名前	委員会	7月	合計
13	ビーレ ヱチー鳥津2005(鳥津)	会員交流		160700
2	(山下祐)	新因幡宝	63600	159800
12	腕白でもいい浜大(浜崎大輔)	まちの輪	-42600	120700
14	(浜岡)	日本一		116400
15	たまひよ博士(松本)	人間力		115300
16	大木林太郎(大林)	地域経済		82500
17	ワクワク温泉(涌本)	四役		67000
3	デュークフォアベ(安陸)	総務	52000	44600
8	麺・単品!青山(青山)	総務	-21900	34900
4	今いーか!株価(今井)	新因幡宝	20500	20500
18	お水のテキーラ(水野)	四役	22200	400
19	(谷口)	新因幡宝		100
6	(山内)	会員交流	-10700	-10700
20	フルーティー山根(山根一)	新因幡宝	-16200	-16200
7	(山根直)	まちの輪	-21200	21200
21	ポッキー松島(松島)			-29500
22	ラーメン小池さん(小池)	人間力		-30200
23	がんばれ、タチくん(田淵)	総務	20100	-30800
24	ルパン妹尾(妹尾)	人間力	-22300	-37300
9	ポプ加藤(加藤)	新因幡宝	-35700	-41600
11	(田中)	メディア	-42100	-42100
25	ウド紙器(今川)	四役	-7200	-48700
1	ゆるぎないヒロシ(岡村)	循環型	71100	-91700
5	泣きの竜(山本竜)	青少年	6200	-97300
26	新星!豪(西垣)	総務		-102200
10	(戸田)	総務	-39200	-108700
27	ファッションブル山崎(山崎)	循環型		-173100

順位	名前	委員会	7月	合計
1	(山根康)	日本一		55900
2	泣きの竜(山本竜)	青少年		53600
3	(星山)	まちの輪		33500
4	麺・単品!青山(青山)	総務		29900
5	花のみやこ(山根雅子)	人間力		28400
6	ミスター清水(清水)	四役		24600
7	(井関)	まちの輪		12500
8	昇る旭に輝く三谷(三谷)	総務		10400
9	(山根和也)	青少年		10000
10	(山内)	会員交流		2500
11	(有本)	青少年		500
12	(井上)	メディア		-9000
13	(大月)	総務		-10600
14	(森田智)	まちの輪		-10900
15	今いーか!株価(今井)	新因幡宝		-17100
16	マイラ誠ちゃん(縦?、横?)(西尾)	新因幡宝		-20700
17	何だっけい?文系(田中文)	青少年		-21900
18	腕白でもいい浜大(浜崎大輔)	まちの輪		-40200
19	ピンヒール・キミリン(寺垣)	会員交流		-52200
20	(杉本)	新因幡宝		-79400

URL <http://torijc.hal.ne.jp>

2005年度日本JCスローガン  
"JC New Generation" 新たなる日本の夢に向かって

(社)鳥取青年会議所 会報誌 Tottori Junior Chamber Inc.2005 JC report

2005年鳥取JCスローガン

静と動

~あらまほしき因幡をめざして~

2005年重点方針

市民協働によるまちづくりの実現  
リーダーづくりアクションの実施



# 2006年度 理事長立候補あたっての 青年会議所活動に対する所見書

2006年度(社)鳥取青年会議所理事長予定者  
**寺本 光孝**



現在の日本をどう思いますか?この世の中を変えたいと思いますか?この様な質問を良く耳にします。常に様々な問題が起る現代社会です。考えることの出来ない事故、そして事件。一握りだけの出来事ばかり。事ごと取り組んでも到底解決しない事ばかり。常に危機感を持ち、真剣に取り組む姿勢が必要だと感じます。

このまちは私達を必要とし、私達はこのまちは必要としています。自分達の住むまちを好きになる事は大変重要な事だと思えます。この国で生まれ、このまちで育ち、このまちで住み続け、いく。一人ひとりが自分達のまちの誇りを持ち、自分達の住むまちが好きなようになっていく事の出来る運動が出来れば大変すばらしいと思えます。

しかし、そこに目をやる前に、まず自分たちの組織の事をきちんと考える必要があると思えます。『新人類』と言われた世代の人達が第一線で活躍するようになって来ました。私達を育ててくれた昭和と三〇年代生まれの人達の『あたりまえ』と昭和五〇年代生まれの人達の『あたりまえ』と違うところがあります。若干の“差”があるように考えます。時代背景も確かにありますが、この“差”を昭和四〇年代生まれの私達がうまくバランスを取って運営していかなくてはならないと思えます。それだけ私達には責任と期待があるのです。私達に与えられた宿題は山積みです。現在の社会情勢の検証、内部の次世代育成、今後の進むべき道、そして社会参画など。

特に内部の次世代育成は必要不可欠なものだと思えます。現代社会において礼儀知らずな人、道徳の外れている人が多いように感じられます。子供達はそういう大人を見て、当たり前のように思っています。今こそ我々地域の大人達が礼儀やモラルという人間として大切なものを取り戻し、子供達の心へ強く伝えていくべきだと考えます。

二つ目のセミナーは地域社会の一員としての私から、地球社会の一員という位置付けで自分を見つめ直すきっかけとなりました。日々の生活の中で日本人のアイデンティティ・文化・誇りなどを常に意識する事はそうありませんが、意識を持つための勇気があるとすればそれを与えられた様に思います。

青年会議所には青年会議所のルール、マナーがあります。社会には社会のルール、マナーがあります。『そんな事、言われなくても分かっている。』と言われますが、言わなければ分からないのが現状です。正しい事は正しい。間違っている事は間違っている。それをきちんと伝えていく必要性があると思えます。内部のルールを守れなくて、対外的な信用を得られるはずもない。組織の中にあっても常に謙虚さを持ち、小さな約束を守る事から大きな信頼関係が築かれていくと思えます。そして、もつとコミュニケーションの重要性を認識する事が大切だと考えます。一人で考え込むのではなく、話す、聞く、フイードバックすると言った一連の流れを乱さないようにしっかりと行っていく事も重要ではないのでしょうか。

今まで先輩方がやって来られた事、なぜ出来ない様になったのか。この事は直ちに見直す必要があると考えます。厳しさが欠けてきたのか、甘えが出てきたのか。若干のバラツキが目立つ様になってきました。

二〇〇六年度は中国地区協議会の会長を鳥取青年会議所から輩出した。四三年ぶりに当LOMからの輩出です。中国地区協議会、及び鳥取プロセス協議会を全面的にバックアップしていかなくてはなりません。又、県外、他LOMの方が鳥取に来られる機会が多くなります。きちんとした対応、設備を次世代に継いでいかなければならないと思えます。先輩方々が築いてこられた(社)鳥取青年会議所の名に恥じない様に、緊張感を持ち、そして気遣いの部分も忘れず、精一杯運営して行きたいと思えます。

二〇〇六年度は中国地区協議会の会長を鳥取青年会議所から輩出した。四三年ぶりに当LOMからの輩出です。中国地区協議会、及び鳥取プロセス協議会を全面的にバックアップしていかなくてはなりません。又、県外、他LOMの方が鳥取に来られる機会が多くなります。きちんとした対応、設備を次世代に継いでいかなければならないと思えます。先輩方々が築いてこられた(社)鳥取青年会議所の名に恥じない様に、緊張感を持ち、そして気遣いの部分も忘れず、精一杯運営して行きたいと思えます。

この度、七月二十三日・七月二十四日の二日間名古屋の地で開かれたサマーコンファレンス2005に参加させていただきました。一日目は、名古屋国際会議場で、国家力創造フォーラム〜JC New Generationが創る真の自立国家日本〜と、世界の中の日本〜日本の素晴らしさを知り世界に伝えようのセミナーに参加し、前者では国民としての日本人の在り方・自立国家の確立という部分について、3人の先生方がエモアあふれる討論をしておられました。後者では、お互いの立場を考える思いやりをテーマにした討論会でした。この中で一番に残った言葉は、「サムライスピリット」でした。なぜなら、私にも言える事なのですが今の日本人は、日本人としての誇りを失いかけています。

入会してから今日まで青年会議所活動を通って来ました。が、私の人生の中にこの様な「岐路」は考えても見ませんでした。ただ自分に出来る事、今やらなければならない事がきつとある。常にそう思っていない事ばかりです。何の為に青年会議所に入会したのか。自己の成長の為?人間関係?様々な背景があると思えます。今、あなたのその目的は達せられようとしていますか?精一杯活動していますか?決して安くはない会費を払い、何を手に入れたいか?本気で取り組んでみませんか?一年、がむしやらに青年会議所活動をやってみましょうよ。四〇歳までじゃありませんか。一緒にやってきました仲間じゃありませんか。失敗を恐れずは何も出来ませんし、成長もありません。しかし、何をやってもいいの、かと言うとそうでもありません。今、どう言う状況で何が必要なのか。全体を見る目、物事を違った角度から見ると広い視野を持つ事が必要なのです。私の言ってきた、みんなと一緒にやっていたい。そういうスタンスは変わっていません。後悔の無い様に、時には喜びを分かち合いたい、時には共に涙する。ここでしか味わう事の出来ない大切な仲間を通して。私には大切なたくさん仲間の仲間がいます。心から相談出来る先輩、意見を言い合える後輩。本当に「人」には恵まれて来た様に思います。これからは人と人との繋がりが、出会いを大切にしながらがんばって行きたいと思えます。

二〇〇六年度は中国地区協議会の会長を鳥取青年会議所から輩出した。四三年ぶりに当LOMからの輩出です。中国地区協議会、及び鳥取プロセス協議会を全面的にバックアップしていかなくてはなりません。又、県外、他LOMの方が鳥取に来られる機会が多くなります。きちんとした対応、設備を次世代に継いでいかなければならないと思えます。先輩方々が築いてこられた(社)鳥取青年会議所の名に恥じない様に、緊張感を持ち、そして気遣いの部分も忘れず、精一杯運営して行きたいと思えます。

二〇〇六年度は中国地区協議会の会長を鳥取青年会議所から輩出した。四三年ぶりに当LOMからの輩出です。中国地区協議会、及び鳥取プロセス協議会を全面的にバックアップしていかなくてはなりません。又、県外、他LOMの方が鳥取に来られる機会が多くなります。きちんとした対応、設備を次世代に継いでいかなければならないと思えます。先輩方々が築いてこられた(社)鳥取青年会議所の名に恥じない様に、緊張感を持ち、そして気遣いの部分も忘れず、精一杯運営して行きたいと思えます。

二〇〇六年度は中国地区協議会の会長を鳥取青年会議所から輩出した。四三年ぶりに当LOMからの輩出です。中国地区協議会、及び鳥取プロセス協議会を全面的にバックアップしていかなくてはなりません。又、県外、他LOMの方が鳥取に来られる機会が多くなります。きちんとした対応、設備を次世代に継いでいかなければならないと思えます。先輩方々が築いてこられた(社)鳥取青年会議所の名に恥じない様に、緊張感を持ち、そして気遣いの部分も忘れず、精一杯運営して行きたいと思えます。

二〇〇六年度は中国地区協議会の会長を鳥取青年会議所から輩出した。四三年ぶりに当LOMからの輩出です。中国地区協議会、及び鳥取プロセス協議会を全面的にバックアップしていかなくてはなりません。又、県外、他LOMの方が鳥取に来られる機会が多くなります。きちんとした対応、設備を次世代に継いでいかなければならないと思えます。先輩方々が築いてこられた(社)鳥取青年会議所の名に恥じない様に、緊張感を持ち、そして気遣いの部分も忘れず、精一杯運営して行きたいと思えます。

## サマーコンファレンス開催

総務委員会  
委員長 西垣 豪

去る七月二十三日(土)二十四日(日)の両日開催されたサマーコンファレンスに際しまして、多くのメンバーにご参加頂きほんとうにありがとうございました。

今年のサマーコンファレンスは、例年とは違い横浜から名古屋に会場を移しての開催となりました。愛・地球博開催中の名古屋で開催することにより、政策提言力を高めていくという狙いもあったようです。また、日本JCのサマコンホームページに詳しいセミナーの内容が掲載されており、参加メンバーがセミナーに参加しやすい工夫されていたと思えます。総務委員会においても、参加メンバーに有意義なサマコンとして頂く為スケジュールは検討に検討を重ねました。希望するセミナーに必ず参加できるように、また懇親が深められる会場の確保、大変混雑が予想された二日目の愛・地球博を満足していただけるよう精一杯がんばったつもりですがいかがでしたでしょうか?

日本JCの会頭選挙も飛び込んだ二日目のスケジュールを終え鳥取着もかなり遅くなりましたが、参加された皆様、ほんとうに最後まで総務委員会に対し心からのご協力ありがとうございました。現在準備を進めている全国会員大会も多くのメンバーの参加お待ちしております。今後よろしくお願致します。

サマーコンファレンスに参加して  
循環型社会創造委員会  
委員 山田 大介

JCに入会して以来先輩から、サマコン、サマコンそしてサマコンと幾度となく耳にしておりました。七月二十三日(土)の当日には私達と志を同じくする全国のJCメンバーの方々の人の多さと、規模の大きさ、歴史を感じました。

セミナーでは循環型社会を創造する上で、市民、行政、民間事業者が一体となって取り組んでいる事例など、さまざまな委員会の説明を受け、研修委員もそれぞれの委員会に配属されました。何をやるにしても見て、触れてみないと分からないものです。自分の立場をわきまえて進んで役割を果たすことの出来るように意識ある行動のぞみたいと思えます。また、意識ある行動の中には「規律」「マナー」ルールも不可欠ではないかと私は考えます。

そこで学んだことのひとつにロバートルールがあります。ロバートルールには「四つの権利、四つの原則」といった「公平」と「平等」が重んじられており組織全体の会員の権利を尊重しているのだと感じ、自己主張の出来る場所もあると考えます。最後に鳥取青年会議所中長期運動ビジョンの中に「伝統」「経済」「参画」「循環」「心」ということがありますが、それぞれ意味があり因幡を日本一誇りあるまちになるようこのことばの意味を考えるとともに同じ意識の中で日々の活動を取り組むことのできるようになっていきたいと思います。



を勉強しました。そこで感じたのは、やはり地域社会を造っている主役は市民一人ひとりであるという事と、その人達を繋げネットワークを構築していく大切さでした。また私達JCメンバーが率先して行動し地域のけん引役となる必要性、使命感を再認識しました。

二つ目のセミナーは地域社会の一員としての私から、地球社会の一員という位置付けで自分を見つめ直すきっかけとなりました。日々の生活の中で日本人のアイデンティティ・文化・誇りなどを常に意識する事はそうありませんが、意識を持つための勇気があるとすればそれを与えられた様に思います。

サマーコンファレンスに参加して  
メディアコミュニケーション委員会  
委員 田中 雅幸

去る七月二十三日から二日間にわたりましてサマーコンファレンスに参加させて頂きました。貴重な体験をさせて頂いたと思っております。ありがとうございました。初日はサマコンと言うことで、国家力創造フォーラムと日本再発見フォーラムの二つのフォーラムに参加させて頂きました。国家力創造フォーラムでのパネルディスカッションでは前防衛庁長官の石破代議士が亡国のイージスの著者である福井先生がパネリストに選ばれていることもあり、おもに国防の話となりました。私も国防に関心がありますので、興味深く拝聴させて頂きました。

## 後期研修会員研修会

第一回、2回研修会を通して  
「日本」誇り創造委員会  
川上 和彦

第一回研修会では、JC I、あるいは鳥取青年会議所のことについて学びました。その起源は、「青年らしい情熱をもった活動」を持つているように感じました。この言葉をより具体的に表したのが、これから心に「国際・日本・鳥取青年会議所メンバーが共有する」「JC I クリッド」、「JC 綱領」案です。「JC 宣言」、「そして、因幡市民憲章」であるのだと実感しました。残念ながら、まだ、頭の中にしつかりとイメージできていません。一日も早く暗記だけはおけるようがんばっています。

二〇〇六年度は中国地区協議会の会長を鳥取青年会議所から輩出した。四三年ぶりに当LOMからの輩出です。中国地区協議会、及び鳥取プロセス協議会を全面的にバックアップしていかなくてはなりません。又、県外、他LOMの方が鳥取に来られる機会が多くなります。きちんとした対応、設備を次世代に継いでいかなければならないと思えます。先輩方々が築いてこられた(社)鳥取青年会議所の名に恥じない様に、緊張感を持ち、そして気遣いの部分も忘れず、精一杯運営して行きたいと思えます。

二〇〇六年度は中国地区協議会の会長を鳥取青年会議所から輩出した。四三年ぶりに当LOMからの輩出です。中国地区協議会、及び鳥取プロセス協議会を全面的にバックアップしていかなくてはなりません。又、県外、他LOMの方が鳥取に来られる機会が多くなります。きちんとした対応、設備を次世代に継いでいかなければならないと思えます。先輩方々が築いてこられた(社)鳥取青年会議所の名に恥じない様に、緊張感を持ち、そして気遣いの部分も忘れず、精一杯運営して行きたいと思えます。

二〇〇六年度は中国地区協議会の会長を鳥取青年会議所から輩出した。四三年ぶりに当LOMからの輩出です。中国地区協議会、及び鳥取プロセス協議会を全面的にバックアップしていかなくてはなりません。又、県外、他LOMの方が鳥取に来られる機会が多くなります。きちんとした対応、設備を次世代に継いでいかなければならないと思えます。先輩方々が築いてこられた(社)鳥取青年会議所の名に恥じない様に、緊張感を持ち、そして気遣いの部分も忘れず、精一杯運営して行きたいと思えます。